

# 生徒指導だより

第18号

令和7年7月10日発行  
市川市立大洲中学校  
生活指導担当

## 1学期の振り返り

あと数日で1学期が終わります。ちょうど今の時期、学年単位での振り返り、クラス単位での振り返り、個人単位での振り返りをしているのではないのでしょうか。

振り返りをする時に、「反省」という言葉がよく使われます。この「反省」という言葉、良くなかった部分を振り返ることだととらえている人が多いです。もちろんそれも大切なことではあるのですが、もっと大切なのは、良かったことを見つけ、それをずっと続けられる方法を考えることです。難しい言葉でいうと「再現性」というのかもしれませんが、自分自身が、そしてクラスや学年が「良かったことを続けられる手立て」をみんなで考えてみることは、みなさんの学校生活にとって、とても大切なことです。

## 周りへの敬意

スポーツに興味がない人にはピンとこないかもしれませんが・・・。

先週末に日本陸上競技選手権が開催されました。この大会は、9月に東京で行われる世界陸上の選考を兼ねた陸上選手にとってはとても大事な大会です。自分も気になる競技を中心に、動画配信やテレビで観ました。その中でとても印象に残ったのが、女子の800mと100mハードルでした。

800mは、日本新記録を出して優勝した久保凜選手が、ゴール後に参加標準記録を突破できなかったことに対する悔しさをにじませていたことです。以前、練習の動画やインタビューなども観たことがあるのですが、高校3年生で「世界」を見据えている姿勢に感銘を受けました。強い意志（目標に向けた強い気持ちや決意）を持つことは本当に素晴らしいことです。

100mハードルは、大会の最終種目でした。大会の最終種目といえば、大会全体のメインと言って良い種目です。競技そのものも最終種目にふさわしい素晴らしさだったのですが、それ以上にゴールした後の8人の選手の姿が素晴らしかったです。記録の速報が二転三転する混乱の中、決勝で走った8人全員がトラックに座って一緒に結果の確定を待ち、確定後お互いの健闘を称えあっていました。大会全体を通して「スポーツマンシップ」の素晴らしさを感じたのですが、最終種目にその素晴らしさが凝縮されていました。

様々な場面で人と付き合っていく中で、「敬意」、「尊重」の気持ちを持つことの大切さ、そしてそれによって得られるものの大きさを感じることができました。

白黒であり雰囲気が伝わらないかもしれませんが、裏面に写真を載せました。少しでも伝わるものがあれば・・・。

## ※家庭教育学級の開催について

先日開催された家庭教育学級では、気温も湿度も高い中、100名を超える参加をいただきありがとうございました。また終了後のアンケートで、たくさんの方からありがたいコメントをいただきました。終了後追加でいただいた質問について、わかる範囲での内容になりますが、回答をさせていただきました。参加されたご家庭の今後の進路選択の一助になれば幸いです。